

復刻版

THE Y's MEN'S CLUB of TOKYO GREEN

The Service Club Of The YMCA

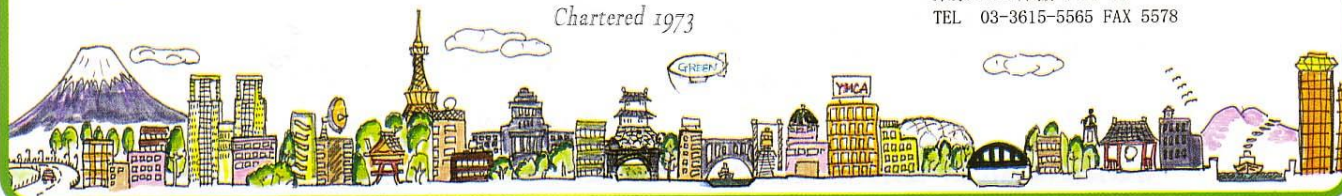
2023.07



東京グリーン

Chartered 1973

〒135-0016
東京都江東区東陽 2-2-20
東京 YMCA 東陽町センター内
TEL 03-3615-5565 FAX 5578



To Acknowledge the Duty that Accompanies Every Right

< 2023.07 >

BULLETIN

2023年7月~2024年6月

会長 樋口 順英
副会長 青木 方枝
書記 西澤 紘一
会計 柿沼 敬喜
監事 柿沼 敬喜
監査 西澤 紘一
担当主事 柳原みずき

国際会長 ウルリック・ラウリドセン 「輝かそう、あなたの光を」
アジア太平洋地域会長 利根川 恵子 「変革のための光となろう」
東日本区理事 山田 公平 「未来のために今、学びと気づきを！
未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」
関東東部部長 長尾 昌男 「親睦を糧に、クラブライフの充実」
クラブ会長 樋口 順英 「51年目からの新たな出発」

7月 ワイズの原点

私があなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。これが私の掟である。友のために自分の命を捨てること、これ以上に大きな愛はない。(ヨハネによる福音書 15 章 12 節)

< 互いに愛し合う事こそ、隣人に奉仕をする原点である。 >

日時:2023年 7月 19日(水) 18:30~20:30

場所:東京 YMCA 東陽町センター

受付:柿沼メン、 進行:青木メン

開会点鐘 樋口 会長
ワイズソング・ワイズの信条 全 員
聖句・お祈り 西澤 メン
ゲスト、ビジター紹介 樋口 会長
新入会員小仁恵子氏の件報告 樋口 会長
第 87 回神田川船の会のふりかえり 目黒 メン
新年度運営方針 樋口 会長
一クラブの今後についての意見交換をおこないます
新年度予算案、前年度決算報告 柿沼 メン
YMCA 報告 柳原 主事
ハッピーバースデー 新倉メン、塩入メネット
閉会点鐘 樋口 会長

新しい年度をむかえて

会長 樋口 順英

今年度も引続き会長
およびブリテン担当を
を務めさせていただき
度く存じます。
昨年度は、様々な困難
な中、メンバー各位や
各方面の皆さまに支えていただきありがとう
ございました。今年度も頼りないので引き続
きご指導をよろしくお願いたします。



今年度はクラブ創設51年目に入ります。
クラブライフを楽しく充実するため、メンバ
ー各位の関心の多様性を尊重し、知恵を出
し合って取り組んでいきたいと思ひます。

ワイズのすばらしさは自らが汗をかき、身
を粉にして働くことだと感心しています。私
自身、長年の会社生活で培ってしまった「う
どん屋の釜」状態一中身少なく、ゆうだけで
時には水を差す人一から脱却し、「まずは自
分の事として動く」ようにいたします。

★ご出席の方は、7/17 迄に青木メンまでご連絡下さい

【例会出席率】 在籍:14名 6月出席率 9/12 75%

出席:6月 東京 YMCA 東陽町センター
(メン 9名、メネット0名) 計 9名

【ニコニコ】 ¥18,000

◆2023年6月 第一例会 報告

日時:2023年6月21日(水) 18:30~20:30

場所:東陽町センター、カンフェレンスルーム

出席者:青木、柿沼、佐野、西澤、西本(東)、西本(晃)、
根本、柳原、樋口

ゲスト;池田 麻梨子様(東京 YMCA TYIS)

▲ 開会点鐘、聖句、お弁当、メンバー近況報告と続き、
池田様による子気味よい卓話あり、活発な会合でした。

▲卓話:「バングラディッシュの現状とこれから」

講師:池田 麻梨子 様



<卓話主旨>

- 東京 YMCA はバングラディッシュ YMCA と1989年以來 30 年以上のパートナーシップ関係を持ち、識字教育支援、働く子供たちへの教育(NFPE)支援、水害支援などに力を入れてきた。
- このたび10年ぶりに現地 YMCA3か所、NFPE 学校4校等を訪問し、募金などの支援が届き感謝されたことなどを確認し友好を深めた。
- 今後ともバングラ YMCA との交流に力を入れていきたいので、国際協力募金をお願いします！

<感想>

たくさんの現地での写真を見せていただきバングラディッシュの人々の素朴で生き生きとした様子が伝わりました。

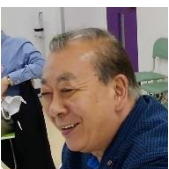
最近日本企業とくに製造業の進出が著しく、電力インフラの改善もみられますので、今後注目していきたいと思います。(樋口)



西本晃子 ㊦



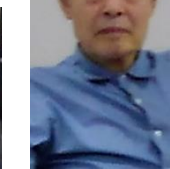
根本 ㊦



佐野 ㊦



青木 ㊦



西澤 ㊦



柿沼 ㊦



西本東司 ㊦



柳原 ㊦

▲報告事項

- 1) 7月キックオフ例会:7月19日(水)18:30~20:30
(東陽町センター)
・新年度運営方針および活動計画案、予算案、
・討議「東京グリーン51年目のスタート地点に立ち、
メンバーが抱負を語り合うーこれからどうする」
・第87回「神田川船の会」のふりかえり
- 2) 8月納涼例会:8月23日(水)17:00~第4水曜日で
す。場所:銀座7丁目ライオンの予定
- 3) 9月例会:9月20日(水)18:30~20:30
(東陽町センター)
・卓話者;昌平小学校 校長 浅岡 寿郎 氏
卓 題;(仮)「課外船上学習への期待」
・なお恒例の同校課外船上学習は 10月4日(水)に
決定しました。(9/27に校内授業)
・関東東部部長公式訪問
- 4) 11月例会:11月15日(水)18:30~20:30
(東陽町センター)
・卓話者;西本 東司 氏
・卓 題;(仮)「東京デイズニューランドと共に40年」
- 5) ★在京ワイズ新年会:2024年1月13日(土)13:30~
(東陽町センター)
東京グリーンがホストクラブとなり、在京ワイズ幹事と
協議しながら準備を開始しました。実行委員長は経
験豊富な佐野メンにお願いします。メンバー全員
のご協力をお願いいたします。(柿沼)

▲今後の主なスケジュール

- 1) 7月29日(土)第1回関東東部評議会
- 2) 10月4日(水)昌平小学校課外船上学習(9/27事前)
- 3) 10月14日(土)第88回神田川船の会
- 4) 10月28日(土)関東東部部大会(船橋)
- 5) 11月18日(土)第2回関東東部評議会
- 6) 11月26日(日)熱海クラブ60周年記念例会

(樋口 記)



西澤 ㊦



柿沼 ㊦



西本東司 ㊦



柳原 ㊦

◆2023年7月 第二例会(役員会)報告

日時:2023年7月12日(水) 15:00~17:30

場所:東陽町センター、カンフェレンスルーム

出席者:柿沼、佐野、柳原、樋口

▲審議事項

- 1) 小仁 恵子(コニケイコ)氏の転入会同意
元東京北クラブ会員、小仁 恵子氏の転入会につき、会則第4条(会員の入会)第5項(転入会)に基づき、役員会で同意されました。
歓迎会は8月23日(水)17:00~納涼例会にあわせて行います。(場所:銀座ライオン予定)
- 2) 23/24年度東京グリーンクラブ運営方針および活動計画案、予算案、22/23年度決算報告につき審議をおこない、承認されました。
- 3) 10月4日(水)千代田区立昌平小学校の校外船上学習の催行が決定しました。(9月27日に事前学習をおこないます)詳細は別途打合せします。
- 4) 10月14日(土)第88回神田川船の会の催行準備は7月19日(水)に行う予定です。
- 5) 在京ワイズ新年会実行委員会
式次第や概算予算案等につき様々な議論をしましたが、コロナ禍の先行きが心配のためしばらく様子見とし、あらためて再度議論することになりました。(樋口 記)

東陽町語学(キッズ英語)のイベント "International Day"より



23/24年度会費振込のおねがい

振込み口座は下記でお願いいたします。

京葉銀行 こてはし台支店(普通) 3856346

カキヌマ ケイキ名義

◆どうぞよろしくお願いたします!

<転入会>小仁 恵子(コニケイコ)さん



初めまして、7月から東京グリーンクラブに転入しました小仁 恵子(コニケイコ)です。

漢字は簡単なのですが、正確に呼んで貰えた経験は一度もありませんのでふりがなをつけました。(苦笑)

現在家族は夫がひとり、息子たち家族はそれぞれ別に住んでいます。

結婚以来複数回の引っ越し経験をしました、やっと落ち着いた生活をしています。

最近のお気に入り、バレエ(孫の影響)鑑賞、東西落語の違い、時代小説など時間を作って楽しんでいます。

ワイズメンズクラブとのご縁は千葉クラブがスタート。東京に転居した時からは東京北クラブに在籍、そしてこれからは東京グリーンクラブにお世話になります。

これからは皆さまと楽しいクラブライフをご一緒させてください。宜しくお願いします。(小仁 記)

ブリテン図書館

「22世紀の民主主義」

成田 悠輔 著 SB新書(2022)

あるTV番組で、東大生が推す現在の天才は、上位から大谷翔平、藤井聡太、芦田愛菜、成田悠輔だそう。4位の成田悠輔氏は、東大卒業後MITにて博士号を取り、現在、一橋大学、スタンフォード大、東大の准教授を務めている期待の研究者である。(次ページに)



(前ページから)

彼の最近の著書「22 世紀の民主主義」を読む機会を得た。彼を上位に推した東大生はさすがだと思う。

若者の投票行動が上がっても影響なし。衆院 21 年選挙で、30 歳以下の投票率は、全投票数の 8.6%であったと言う。さらに小選挙区では 1 票でも多くとれば当選が決まる。たとえ投票率が 50%としてもその半分、つまり 25%を超えればよい。自民、公明の組織票だけで十分クリアできる。しかも、2, 3 世議員は知名度だけで当選できる。

現在のような政治的、経済的、社会的な危機的状況下にあっても、まさに『茹で蛙』のように、気が付かないまま太平に踊っている間にある時突然国家破産に見舞われるであろう。

現在の社会は、資本主義を縦系に民主主義を横系にして成り立ってきた。今世紀に入って、横系が劣化しはじめ、ばらばらになろうとしている。言い換えれば、SNS などのネット社会の進歩と共に民主主義的であることが経済を停滞させると言う現象が起こって来たのである。そこで、彼は、民主主義の再生を願う者として 3 つのシナリオを挙げた。①民主主義との闘争、②民主主義からの逃走、③未来の民主主義の再構想である。ここで①は、現在のシステムの改良、②は、新国家(政治的ヘブン)の創立、③は、彼の出張する無意識データ民主主義である。つまり、現社会を構成する人々のあらゆるデータを蓄積し、民意を抽出する方法である。得られた民意データから意思決定を行うアルゴリズムを介して政策を決める。

このアルゴリズムのデザインこそ重要で、有権者の価値判断が重要となる。現在恐ろしいほど進化している AI (ChatGPT など) を駆使すれば、最大多数の福祉・幸福(最小の社会的損失)が実現されるかも知れない。しかも不毛な分断やマイノリティ無視などの弊害も薄くなるはずである。社会の価値観や規範、それぞれ利害をデータとして客観的に提示できれば不満も最小化できるはずだと言う。その結果、選挙もプロの政治家もいらない国家運営が可能となる。その分、予算の無駄を排除したり、不毛な論争も避けられる。政治に必要な人的要素としては、外交、軍事くらいであろう。後は、時代の変化に応じてアルゴリズムの最適化さえすればよい。それも、民意に連想していることさえ担保しておけば、深刻な対立が生まれることもない。

夢のような話ではあるが、22 世紀には実現しているかも知れない。そのためには、AI の技術的な進歩とそれを制御する知恵が必要となろう。特に悪意を持ってこのシステムを攻撃するかも知れない敵との対抗手段は十重二十重に構築しておかなければならない。

わが国の国是として人権、自由、法の支配を謳っているが、難民やLGBTの人権はおろそかにし、放送法に口出してマスコミを恫喝して言論の自由を奪い、夫婦別姓や同性婚さえ認めない世界の常識とかけ離れた法体系を有している。成田氏の理想は、特区制度で試行することも一案である。まず彼の提言以前に環境整備が先かもしれない。

(西澤 記)



YMCA コーナー

1. 5月27日、「第20回東京YMCA会員大会」が開催され、山手センターに73名が集い、約10人がYouTube配信を視聴した。開会礼拝に続き、蒔田敏雄会員部運営委員長の挨拶で第二部が開会。菅谷淳総主事から東京YMCAの活動報告があり、2023年度の会員部運営委員が推挙された。また長年「中国語の聖書に親しむ会」をご指導くださった故仲田達男氏に「Volunteer of the year」の感謝状が贈られ、特に活躍した4名のユースリーダーが「Youth Volunteer of the year」として表彰を受けた。第三部では、日本YMCA同盟の横山由利亜氏より、YMCAが展開しているウクライナからの避難民支援活動の報告があり、さらに2月にバングラデシュを訪問した東京YMCA職員4名から現地訪問のレポートがあった。最後に、山手センターリーダーOBOGを中心としたメンバーのリードでキャンプソングを歌い交流が図られた。席上、東日本大震災復興支援のための石巻物産販売を行った他、国際協力募金の呼びかけには、32,198円のご厚志が寄せられた。
2. 東陽町語学教育センターでは4年ぶりに年間イベントが復活し、7月1日には「International Day」を開催。55名の参加者、20名のボランティアが集まり、「フレンドシップ」をテーマに様々な活動を楽しんだ。会の最後はバングラデシュ、ウクライナ、台湾のYMCAとZoomで子どもたちの歌声を届けた。
3. 今年、山中湖センターが開設100年を迎えるのを記念し、様々な課題を抱えながら生活している子どもたち100人を山中湖センターで実施するキャンプに招待する企画をスタートする。10月より、「山中湖センター100周年記念募金」を開始する予定。
4. 今後の主な行事日程
 - 1)「キッズワールドカップ in 韓国」8月7~11日
会場:ソウルYMCA
 - 2)「第21回アジア・太平洋YMCA大会」9月15~20日
会場:インド・チェンナイ
テーマ:回復力のあるコミュニティとして共に歩む—
Vision2030を通しての生き方の変革
 - 3)「第37回インターナショナル・チャリティーラン」
個人ウォーキング(オンライン):9月16~23日
チームウォーキング(オンライン):9月23日~10月1日
チームレース(都立木場公園):9月23日

(クラブ担当主事:柳原)